

ぎふ感染症かわら版

平成 29 年 10 月 20 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

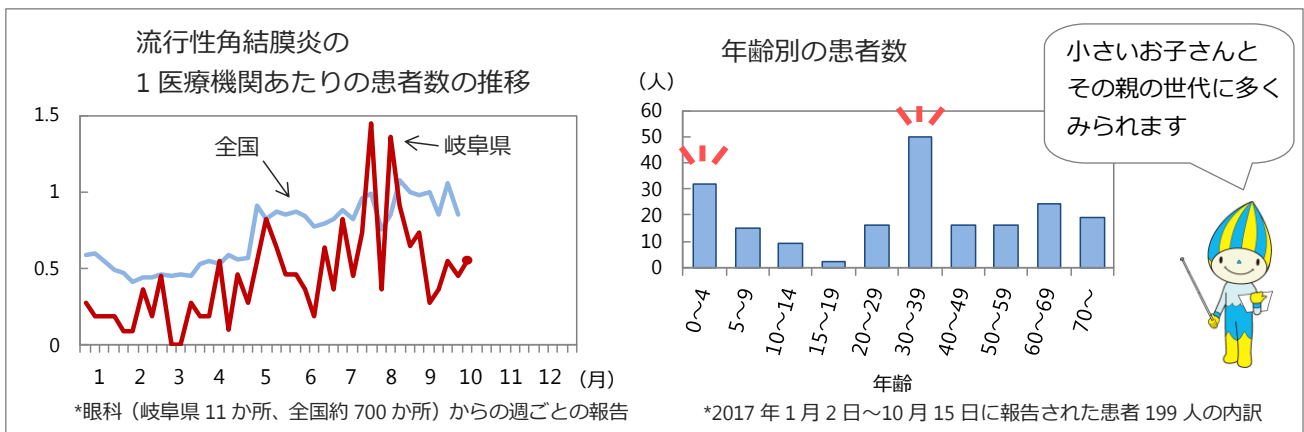


流行性角結膜炎（はやり目）に注意しましょう！

流行性角結膜炎は、一般的には夏に流行する感染症で、今年には県内で 8 月に患者の増加がみられています。

9 月以降、患者数は減っていますが、10 月に入ってからでも患者の発生が続いています。また、全国では現在も患者数の多い状態が続いており、今後も注意が必要です。

子どもから大人まで幅広い年齢の人がかかりますが、特に 5 歳未満のお子さんと、大人では 30 歳代でかかる人が多くなっています。



どんな病気？

アデノウイルスの感染によって、結膜に炎症を起こします。

感染すると、8～14 日後に、結膜が充血し、目やにや涙が出るなどの症状があらわれます。

結膜炎は 2～3 週間で治まりますが、炎症が強いと、角膜（黒目）の表面に小さな濁りができて見えにくくなることもあり、この濁りは消えるまでに数カ月かかることがあります。

結膜…まぶたの裏側と白目をおおっている膜



どう感染するの？ 予防方法は？

主に、感染した人の目やにや涙を拭いた手指やタオルなどを介して接触感染します。アデノウイルスは感染力が強いため、予防のために次のことに心がけましょう。

- こまめに手を洗う
- 目を拭くときはティッシュペーパーを使い、目を直接手で触らない
- 同じタオルを他の人と一緒に使わない



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

